

こんな時に便利です！

# オリジナル・カラー封筒

短納期  
小ロット



(2月6日(月)のT社にて)  
2月9日(木)、10日(金)の展示会に出展するT社のT君(担当者)。展示会では新製品を前面に押し出してアピールすることになり、パンフレット・資料・粗品等を封筒に入れて配布することになりました。通常の会社の封筒ではインパクトがないと思いますが、**開催日まで日がなく困っています。**



そこへたまたまやってきた宏和の営業マンSからこんな提案が。**「弊社のオンデマンド・カラー封筒でしたらデザイン打合せに1日、印刷で1日で、木曜日に間に合いますよ。」**

ということで、早速デザインを打合せして封筒印刷を依頼しました。



完成！

「新製品の資料」とわかりやすく、お客様にも好評。ちょっとした工夫で印象も良くなりました。

角2 カラー封筒 300枚



株式会社 宏和

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状  
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史  
電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート  
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成  
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作  
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

# コウワ/ワ MONTHLY NEWS LETTER Vol.17

2017

2

February

コウワ/ワ 2 Vol.17

発行者：株式会社宏和  
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東1-7-22 TEL 06-6789-2313

(株)宏和



先日、折込求人広告会社の方と話をしていると、広告出稿量が20%減っているとっておられました。理由は、求人ニーズがないのではなく、広告を出しても反応がないからだそうです。業種によって差があると思いますが、人手不足は大きな問題になっています。追い打ちをかけるように、長時間労働の問題もあります。これをピンチととらえるかチャンスととらえるか。難しい時代になりました。

代表取締役 日笠宏昭



読者リクエストにお応えします

## 芸術家・岡本太郎（太陽の塔の作者）

昨年の12月号で大阪万博のことを書きましたが、見ていただいた30代の方から、「岡本太郎って凄い人だったんですね。もっと知りたいです。」という感想をいただきました。50代以上の方でしたら岡本太郎というと「芸術は爆発だ!」というテレビCM等でご存知の方も多のですが、若い方にはなじみがないかもしれません。（実は昨年、DODAのコマーシャルで肉声が使われていました。）というわけで、今月は岡本太郎特集です。

### 岡本太郎

1911年 漫画家 岡本一平、歌人・小説家 岡本かの子の長男として現在の川崎市高津区にて生まれる。1930年～40年までパリで芸術・民族学を学ぶ。パリ在住中、ピカソの作品に衝撃を受け、抽象芸術運動に参加。帰国後、前衛的な作品を次々に発表、高い評価を受ける。絵画、彫刻以外にも評論の執筆などその幅広い才能を発揮、超個性派人間として精力的な活動を展開。1996年の没後も、その生き方や独創的な作品は鮮烈な衝撃を与え続けている。

### エピソード

- 大正6年、小学校に入学するが、先生の態度に反発、1学期で退学し、その後も転校をくり返し、翌年、4校目の慶応幼稚舎の寄宿舎に入る。
- 46歳ではじめたスキーはプロ級、「腕も確かだが、どんなゆるい斜面でもエベレストを直滑降するような勢いで滑ってくる。」プロスキーヤー三浦雄一郎さん談。

### 語録

「芸術は爆発だ!」  
 「本職は人間」  
 「子どもはみんな天才だ」  
 「誤解される人の姿は美しい」  
 「今日の芸術は、うまくあってはならない。きれいであってはならない。こちよくあってはならない。」



「明日の神話」東京 渋谷駅内



「子供の樹」子供の城 (2015年閉館：東京都渋谷区) の前



「母の塔」川崎市岡本太郎美術館



写真：岡本太郎記念館より



岡本太郎記念館



岡本太郎記念館

### 岡本太郎をもっと知りたい方へ

- ・岡本太郎記念館 東京都港区南青山 6-1-19
- ・川崎市岡本太郎美術館 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5

今も岡本太郎さんの存在を感じることができる空間です。東京へ行かれるときはぜひ寄ってみたい場所です。

(写真はすべて弊社代表撮影のスナップ写真です。著作権等お許し下さい。)